

事業概要	社会に寄与する人材の開発、育成を進めることにより産業界をはじめ広く我が国の発展、繁栄に貢献することを目的とする。
部署	—
所在地	〒403-0006 山梨県富士吉田市新屋1400
連絡先	(電話番号)0555-22-5156 (E-mail)info@fujicalm.jp
環境省ローカルSDGsを通じて、実現したい社会像	<ul style="list-style-type: none">• 自家用車および公共交通機関の純EV化• 太陽光発電システムの設置推進• 電力の自家発電、自家利用によるエコハウス化の推進• 地域電力会社の立ち上げ• IT、ICT、IoTの推進によりビッグデータを地域で管理

ローカルSDGsの実現に貢献できるソリューション	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 199 564 263">分野</td> <td data-bbox="564 199 2130 263">その他(研修専門ビジネス)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="432 263 2130 1220"> <p>宿泊研修専門施設という特性を活かし幅広く、SDGsの普及を推進するセミナー団体の「周知会場」としての提供を積極的に行っていく。</p> <p>具体的には下記3点目にもある通り、市民を対象とした「環境保全セミナー」の企画・開催。ただ機会提供するだけでなく自発的な周知も狙っていく。</p> <p>なお、地域環境保全団体と協力のもと執り行う。</p> <p>「自分には何が出来るか」ということを考えていただきたいのが狙い。</p> <p>一般市民だけではなく行政職員等を対象としたSDGsセミナーを企画・開催し、地域課題・環境問題を自分事として捉えられるようソリューション提供を行う。</p> <p>人材育成プログラムについても富士登山ツアーを企画する会社とのつながりが強いため、SDGsとつながりが持てるよう内容を派生させる。</p> <p>(登山に清掃活動を盛り込んだり道中の移動を低炭素排出で行うなど)</p> <p>⇨ 地方行政、環境保全団体、市民との協働は「誰一人取り残さない」という理念を少なからず体现できる。我々は地域に「気づく機会」を提供することが可能。</p> <p>気づいてしまえば行動は早い。</p> <p style="text-align: center;"><u>以下、具体的な取り組み内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 脱炭素に向けた社用車のEV化 → 脱炭素貢献 • バイオ生ごみ処理機の導入 → 炭素削減への貢献 • 富士山環境保全についてのセミナーを定期開催 → 意識啓発への貢献 • ワークショッププランの展開に伴い移動手段としてのEV導入 → 脱炭素貢献 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1220 564 1276">URL</td> <td data-bbox="564 1220 2130 1276"> https://fujicalm.jp/ 活動順に当社HPで都度報告していきます </td> </tr> </table>	分野	その他(研修専門ビジネス)	<p>宿泊研修専門施設という特性を活かし幅広く、SDGsの普及を推進するセミナー団体の「周知会場」としての提供を積極的に行っていく。</p> <p>具体的には下記3点目にもある通り、市民を対象とした「環境保全セミナー」の企画・開催。ただ機会提供するだけでなく自発的な周知も狙っていく。</p> <p>なお、地域環境保全団体と協力のもと執り行う。</p> <p>「自分には何が出来るか」ということを考えていただきたいのが狙い。</p> <p>一般市民だけではなく行政職員等を対象としたSDGsセミナーを企画・開催し、地域課題・環境問題を自分事として捉えられるようソリューション提供を行う。</p> <p>人材育成プログラムについても富士登山ツアーを企画する会社とのつながりが強いため、SDGsとつながりが持てるよう内容を派生させる。</p> <p>(登山に清掃活動を盛り込んだり道中の移動を低炭素排出で行うなど)</p> <p>⇨ 地方行政、環境保全団体、市民との協働は「誰一人取り残さない」という理念を少なからず体现できる。我々は地域に「気づく機会」を提供することが可能。</p> <p>気づいてしまえば行動は早い。</p> <p style="text-align: center;"><u>以下、具体的な取り組み内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 脱炭素に向けた社用車のEV化 → 脱炭素貢献 • バイオ生ごみ処理機の導入 → 炭素削減への貢献 • 富士山環境保全についてのセミナーを定期開催 → 意識啓発への貢献 • ワークショッププランの展開に伴い移動手段としてのEV導入 → 脱炭素貢献 		URL	https://fujicalm.jp/ 活動順に当社HPで都度報告していきます
分野	その他(研修専門ビジネス)						
<p>宿泊研修専門施設という特性を活かし幅広く、SDGsの普及を推進するセミナー団体の「周知会場」としての提供を積極的に行っていく。</p> <p>具体的には下記3点目にもある通り、市民を対象とした「環境保全セミナー」の企画・開催。ただ機会提供するだけでなく自発的な周知も狙っていく。</p> <p>なお、地域環境保全団体と協力のもと執り行う。</p> <p>「自分には何が出来るか」ということを考えていただきたいのが狙い。</p> <p>一般市民だけではなく行政職員等を対象としたSDGsセミナーを企画・開催し、地域課題・環境問題を自分事として捉えられるようソリューション提供を行う。</p> <p>人材育成プログラムについても富士登山ツアーを企画する会社とのつながりが強いため、SDGsとつながりが持てるよう内容を派生させる。</p> <p>(登山に清掃活動を盛り込んだり道中の移動を低炭素排出で行うなど)</p> <p>⇨ 地方行政、環境保全団体、市民との協働は「誰一人取り残さない」という理念を少なからず体现できる。我々は地域に「気づく機会」を提供することが可能。</p> <p>気づいてしまえば行動は早い。</p> <p style="text-align: center;"><u>以下、具体的な取り組み内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 脱炭素に向けた社用車のEV化 → 脱炭素貢献 • バイオ生ごみ処理機の導入 → 炭素削減への貢献 • 富士山環境保全についてのセミナーを定期開催 → 意識啓発への貢献 • ワークショッププランの展開に伴い移動手段としてのEV導入 → 脱炭素貢献 							
URL	https://fujicalm.jp/ 活動順に当社HPで都度報告していきます						
上記ソリューションを提供できる地域について	山梨県富士吉田市						

自者の特徴

- 研修専門施設であるが故、多様な企業との交流実績を今もこれからも継続できる。
- 学校との交流もあるため、次代を担う児童や学生にもSDGsに触れてもらえるように、館内にSDGsコーナーを設けて機会提供を行う。
- 富士山の麓には数多くの環境保全団体が存在するため、協働して地域の環境保全に努めることができる。(講師として招き市民への環境保全セミナーを開催する、積極的に清掃活動に参加するなど)
- 一般的なホテルとは違い「学びに来る方々」がメインの為、問題意識の共有を行いやすい。
- 唯一無二のノウハウ提供として「人材育成の場」を提供することが可能。
これにより富士吉田市の環境問題をはじめとし、解決意識を持った人間の輩出にも貢献することができる。ローカルSDGsを官民連携で推進していくために必要な機会提供だと考える。

SDGs経営に向けた自者の課題や悩み

何が問題かという「SDGs」自体の浸透具合の低さ、取り組み意識の薄弱さ。
言葉だけ知っていても何の役にも立たないということを周知していく。
同時に行動・姿勢を以って地域に示していく。

エネルギー関連のノウハウが全くないので、
地域電力会社の設立やビッグデータでの管理を目指す以上は、
どうしても専門知識を持った方々のお力添えが必要となる。
財団とはいっても後ろ盾は無いので、様々な企業様との連携が必須。

いかに広く周知できるかが我々の責務なので機会提供を継続して、
凝り固まった思考をほぐしていかないと手遅れになる。
「人間らしい文化的な生活」を優先してきたツケを払う時代だということに、
もう気づいてもいいのではないか。

何かを得る以上、失うものは必ず出てくるので、
まずは我々自身が「要求」と「我慢」の均衡を意識していく。